# 平成29年度　事務事業評価シート（詳細）

※平成28年度に実施した事業を評価しています

## 基本情報

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 河越流鏑馬 | | | | | | | | | |
| 担当部署 | 教育総務部 | | 文化財保護課 | | | | | | 事業コード | 17 |
| 所属長 | 下　薫 | | | | | | | | 事業区分 | ソフト事業 |
| 予算事業名 | 河越館跡整備 | | | | | | | | 新規・継続 | 継続 |
| 予算事業コード | 会計 | 10 | 款 | 10 | 項 | 06 | 目 | 04 | 事業開始年度 | 平成23年度 |

## 1．事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等（Plan）

第四次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 基本目標(章) | 第3章 | 歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち | 法令による実施義務 | 義務ではない |
| 施策 | 15 | 文化財の保存・活用 | 根拠となる法令 | なし |
| 取組施策 | 4 | 河越館跡の整備・活用 | その他実施根拠（条例、要綱等） | なし |
| 関連事業 | なし | | | |

## 2．事業の目的と概要（Plan）

| | |
|---|---|
| 実施主体 | 負担金 |
| 対象（誰・何を対象に） | 広く一般を対象に |
| 目的（対象をどのようにしたいか） | 国指定史跡河越館跡の存在・歴史を周知する |
| 事業の概要（活動内容、実施手段・方法など） | 河越流鏑馬実行委員会・川越市教育委員会の主催により河越氏の時代の武芸である流鏑馬を開催する。 |

## 3．前年度に立てた計画（Plan）

民俗芸能、出陣式、流鏑馬実演、歓送行事などの実施。見学者の危険区域への立ち入り等の安全面についてはさらに改善する。

## 4．取組実績（Do）

11月12日に実施。来観者4500名。
民俗芸能、出陣式、流鏑馬実演、歓送行事を実施。

## 5．実施にかかるコスト（Do）

（単位:千円）

⑴　支出の部

| | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度(見込額) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人件費 | A | 6,605 | 6,615 | 6,723 | 6,723 | |
| 正規職員（1年間の従事人数） | | 0.90人 | 0.90人 | 0.90人 | 0.90人 | |
| 臨時職員（1年間の従事人数） | | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | |
| 事業費 | B | 2,200 | 2,200 | 2,400 | 2,400 | |
| 負担金 | | 2,200 | 2,200 | 2,400 | 2,400 | |
| 総支出（A＋B） | | 8,805 | 8,815 | 9,123 | 9,123 | |

⑵　収入の部

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 使用料・手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 8,805 | 8,815 | 9,123 | 9,123 | |
| 総収入 | 8,805 | 8,815 | 9,123 | 9,123 | |

## 6．指標による分析（Check）

### ⑴ 活動指標

| 評価指標 | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度（予定） | 単位当たり費用（下段は前年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実行委員会開催回数 | 回 | 4 | 4 | 4 | 4 | 2280.75 |
| 指標の定義・説明 | 河越流鏑馬実行委員会の開催回数 | | | | | 2203.75 |
| | | | | | | |
| 指標の定義・説明 | | | | | | |

### ⑵ 成果指標

| 評価指標 | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度目標値 | 将来目標値 | | 単位当たり費用（下段は前年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入場者数 | 人 | 3,600 | 1,900 | (目標) 4,000<br>(実績) 4,500 | 5,000 | 30 年度 | 5,000 | 2.03 |
| 指標の定義・説明 | 河越流鏑馬当日の入場者数 | | | | | | | 4.64 |
| | | | | (目標)<br>(実績) | | 年度 | | |
| 指標の定義・説明 | | | | | | | | |

## 7．評価（Check）

| 項目 | 評価 | 評価コメント及び課題等 |
|---|---|---|
| 必要性 | | 市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか |
| | C | この行事は多くの方に国指定史跡河越館跡史跡公園に足を運んでもらうとともに河越館跡の理解を深めるための啓発事業として始められた。近年、文化庁も史跡の活用を推奨しており、この点でも事業目的は合致している。 |
| 有効性 | | 施策の目標の達成に貢献しているか |
| | A | 河越館跡を活用するという施策の目標達成には大きく貢献している。 |
| 達成度 | | 設定した活動・成果指標の目標を達成しているか |
| | B | 設定した活動指標・成果指標の目的を達成している。 |
| 効率性 | | 民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担（補助）の適正化が図られているか |
| | C | コスト削減の面から実施内容・役割分担など見直しが必要である。 |
| 総合評価 | D | 必要性および効率性の評価が低いため、実施内容・役割分担などの見直しを行う必要がある。 |

## 8．今後の方向性及び今後の取組（改善策など）（Action）

| 今後の方向性 | 改善 |
|---|---|
| 29年度 | 河越館跡の活用をさらに推進するため、流鏑馬会場内に河越館跡の歴史についてより理解を深めるため解説する展示ブース等を設ける。 |
| 30年度 | 史跡の周知という目的に合わせて事業内容の見直しを行う。 |

【参考】

⑴ 比較参考値（他市での類似事業の例など）

嵐山町で「嵐山時代まつり」の一環として流鏑馬を実施している。

⑵ これまでの見直しや改善等の経過

平成24年度から地元による民俗芸能実演を実施。平成26年度より安全確保のため馬場の位置を変更するとともに見学場所を増設した。